

平成29年度 第4回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月22日 午後03時15分～午後05時00分

開催場所	荒川警察署4階 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 7名
------	------------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、警備課長、地域課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、交通課長代理の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望に対する回答について  
平成29年度第3回会議において出された「管内の外国人人口が増加しているとのことだが、その増加に伴い犯罪の発生など治安への影響はどうか。」との質問について、管内の来日外国人の検挙状況について説明した後、当署で実施した管内日本語学校に対する各種対策（日本語学校学生への教養実施等）の報告をした。
- 2 管内情勢について  
(1) 本年の交通事故発生状況及び交通事故関与率について説明した。  
(2) 本年の指定重点犯罪等の発生状況について説明した。また、特殊詐欺が増加傾向にあることから、荒川警察署特殊詐欺対策プロジェクトを設置し、対策にあっている旨を説明した。
- 3 懲戒処分事案について  
職員の懲戒処分事案及び再発防止策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
平成30年の当署各課活動重点について説明した上で、防犯・防災・交通安全などの地域の安全に関する問題等について、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
特殊詐欺対策として、荒川区役所と連携した防災無線による被害防止の広報は、反響が大きく効果的であった。今後もこうした新しい取り組みを実施していただきたい。その他の点については、署長から説明があったとおり実施していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「新しい詐欺の手口でスミッシング詐欺というのがあると聞いたが、どういう手口なのか。」との質問があり、その手口及び被害防止のための留意点について説明した。
- 2 委員から「歩車分離信号とはどういうものなのか。また、管内にはどれくらい設置されているのか。」との質問があり、歩車分離信号について説明し、管内の設置箇所等の詳細については次回の会議で説明する旨を回答した。
- 3 委員から「最近、夜間に遊んでいる少年を見かけなくなった。少年育成等に関して何か対策を実施しているのか。」との質問があり、少年補導等の対策の他に、少年に酒類を販売するなどの店舗に対し、指導警告を実施した旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年12月06日 午後02時30分～午後04時00分

開催場所 荒川警察署4階 講堂

出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 7名

内 容

会議に先立ち、各課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 前回の意見要望等に対する警察署の取組結果  
「防犯対策については、世代を超えて浸透するような工夫を凝らしていただきたい。」旨の要望を受け、オリジナル防犯ソングを活用した防犯対策を実施した。
  - (1) 特殊詐欺発生状況
  - (2) 地域安全のつどい
  - (3) オリジナル防犯ソング「誓いの言葉」
  - (4) あらかわポリスバンド
- 2 交通事故発生状況等について
  - (1) 交通事故発生状況
  - (2) 交通事故関与率
  - (3) 秋の全国交通安全運動
  - (4) 荒川区民交通安全のつどい
- 3 指定重点犯罪発生状況等について
  - (1) 指定重点犯罪及び署重点犯罪（自転車盗）発生状況
  - (2) 特殊詐欺事件犯人の検挙
- 4 犯罪被害者支援について
  - (1) 犯罪被害者支援実施状況
  - (2) 広報啓発活動の実施
  - (3) 荒川警察署犯罪被害者支援ネットワーク
  - (4) 命の大切さを学ぶ教室
  - (5) 「東日暮里三丁目先路上刃物使用殺人事件」の情報提供を求める広報活動

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
警備対策について
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
外国人対策については、管内の日本語学校への教養等の管理者対策を引き続き実施していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「管内で外国人人口が増加しているとのことだが、その増加に伴い犯罪の発生など治安への影響はどうか。」との質問があったため、「外国人による凶悪犯罪の発生はないが、不法滞在等の検挙は増加している。」と回答した。
- 2 委員から「犯罪ではないが、外国人のマナー違反をよく見かける。何か対策はあるのか。」との質問があったため、「管内は多くの日本語学校が所在しているため、日本語学校の先生や生徒に対して日本の法律やマナーについての教養を実施している。」と回答した。
- 3 委員から「自転車と高齢者の事故が多いとのことだが、実際、車を運転していると、脇道からブレーキをかけずに飛び出してくる高齢者が運転する危険な自転車を多く見かける。」との意見があった。
- 4 委員から「尾竹橋通りと町屋の都電沿いの道路は、いつも駐車車両が散見される。以前、駐車監視員活動ガイドラインについての説明があったが、特に自転車専用レーンが設置されている尾竹橋通りは、重点的な取締りが必要なのではないか。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第2回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年09月28日 午後02時20分～午後03時50分

開催場所 荒川警察署4階講堂  
出席者 協議会委員 6名  
署長ほか 7名

内 容

会議に先立ち、各課長の出席について、各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

少年非行防止対策として、管内の小学校、中学校、高校において、生徒に対し

- 1 防犯教室
- 2 薬物乱用防止教室
- 3 ビーボくんDVDの活用

等を推進した。

[業務報告]

交通事故、指定重点犯罪発生状況等について報告した。

[諮問]

防犯対策について

[答申]

特殊詐欺を含む各種防犯対策については、世代等を超えて、より多くの方に浸透していくように工夫を凝らしてやっていただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から、「不審者が現れた際に、けいしちょうメールで、すぐにその情報を確認することができた。また、区役所などの公共機関との連携もよくとれていて、迅速な対応に感心した。しかし、視覚障害を持つ方などは、メールを見ることができない。何か広報する方法はあるのか。」との質問があった。
- 2 委員から、「防犯カメラは、様々な事件の解決の端緒となっていて、その効果は絶大であると思った。」との意見があった。
- 3 委員から、「最近、携帯電話に迷惑メールがよく届いている。特に、子供は、こうしたメールにすぐに騙されてしまうのではないかと心配になる。」との意見があった。
- 4 委員から、「災害等で停電し、信号機が滅灯した場合、何か対策はあるのか。」との質問があったため、「主要交差点は、発電機を使用して復旧させ、交通整理をする警察官を配置する予定である。」旨の回答をした。
- 5 委員から、「災害時に、民間のガードマンなどに協力を要請してみてもどうか。」との意見があったため、「災害時の民間協力としては、重機を所有している会社に、土砂等を除去するための重機と、それを操縦できる人の派遣を要請している。今後も、様々な民間事業者と協力を依頼していきたい。」と説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第1回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年06月28日 午後01時55分～午後03時15分

開催場所 荒川警察署4階 講堂

出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 7名

内 容

会議に先立ち、各課長の出席について、各委員から了承を得た。  
また、会長・副会長を互選した。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]  
将来を見据えた採用活動のための取組として、  
1 ウェルカムけいしちょう  
2 中学生の職場体験  
3 荒川署インターンシップ  
等を推進した。

[業務報告]  
交通事故、指定重点犯罪及び署重点犯罪の発生状況等について報告した。

[諮問]  
管内情勢について

[答申]  
1 管内の暴力団の動向については、引き続き警戒を強化していただきたい。  
2 災害対策については、有事に備え、各種訓練を継続していただきたい。

[意見・要望等]  
1 委員から「振り込め詐欺については、手口が巧妙化していると聞いているが、どのような手口があるのか。」との質問があったため、「最近の手口としては、銀行協会を騙るものや、金融機関を介さずに、タンス預金等の現金を直接受け取りに行く手口などがある。」と回答した。  
2 委員から「管内で、暴力団が関与する事件の発生はあるのか。」との質問があったため、「管内において、一般人を巻き込んだ傷害事件や対立抗争の発生はないが、先ほど報告したとおり、詐欺や覚せい剤等の犯罪を犯した暴力団構成員等を検挙している。また、みかじめ料請求等の事案に対しては、中止命令を発出している。」と回答した。  
3 委員から「管内で、暴力団風の不審な車が駐車しているのを見かけることがある。どうすればいいか。」との質問があったため、「少しでも、不審に思ったら警察に連絡していただきたい。」と回答した。  
4 委員から「最近、深夜の駅周辺で少年達がたむろしているのをよく見かけるようになった。」との意見があったため、「特定のグループが深夜徘徊を繰り返していることを把握している。現在、対策を講じている最中である。管内全体としては、非行少年の数は減少している。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年03月23日 午後03時25分～午後04時45分

開催場所 荒川警察署4階 講堂

出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 7名

内 容

会議に先立ち、各課課長の出席について、各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

前回の答申等の回答として、「自転車の盗難被害」について回答した。

[業務報告]

交通事故、指定重点犯罪及び署重点犯罪の発生状況と平成28年の指定重点犯罪発生状況等について報告した。

[諮問]

人的基盤の強化について

[答申]

将来を見据えた採用活動として、子供達にも理解できるようにわかりやすく、警察官の仕事の内容や、そのやりがいを具体的に教える取り組みをしてみてもどうか。

[意見・要望等]

- 1 委員から、「子供達の将来の希望は、何がきっかけで変わるかわからない。子供達には様々な機会を通して働きかけてみてはどうか。」との意見があった。
- 2 委員から、「今は警察だけでなく、どこの業界も人材が不足している。警察では、女性職員が不足している現状があることから、特に女性職員の採用に力を入れていく必要がある。また、そうして警察で働く女性が増えれば、その後に続いていく女性が増えていくのではないか。」との意見があった。
- 3 委員から、「子供達の中には、将来の夢として警察官を目指している子達がいるが、そうした子供達の中にも、警察の仕事に対して、怖いイメージを持っている子がいる。子供達向けに、警察官の仕事のやりがいや、仕事の内容をわかりやすく、具体的に説明する活動等を行うことで、将来、就職先として警視庁を選ぶ人が増えていくのではないか。」との意見があった。
- 4 委員から、「女性警察官が勤務できる交番は、管内にいくつあるのか。」との質問があったため、「現在、女性用休憩室等を完備しているのは、荒川五丁目交番のみであるが、日暮里駅前交番も、現在、女性用休憩室等の設備を備えた交番に改築する予定である。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第3回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年12月14日 午後02時20分～午後04時00分

開催場所	荒川警察署 講堂	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 7名
------	----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、各課課長の出席について、各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

前回の答申等の回答として、「高齢者運転免許自主返納制度について」、「自転車に対する取締りについて」、「訪日外国人に対する対応について」の3点について回答した。

[業務報告]

交通事故、指定重点犯罪及び自転車盗の発生状況について報告した。

[諮問]

平成29年度業務重点について

[答申]

- 1 体感治安向上のため、引き続き凶悪犯罪の早期検挙に努めていただきたい。
- 2 交通取締りの際は、他の車両、歩行者等への安全に十分配慮をしながら行っていただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から、「駅前の施錠していない自転車等が盗難に遭うと聞いていたが、報告を受けた統計のデータによると、施錠された自転車のほうが盗難が多いという結果が出ている。これはなぜなのか。」という質問があり、「要因については、はっきりと特定できていない。今後も、様々なデータを分析しながら、自転車盗難防止の対策をとっていきたい。」と回答した。
- 2 委員から、「コンビニ強盗事件の検挙についての報告を伺ったが、事件発生後は、犯人が逃走しているということで、近隣住民、特に子供とその保護者等は不安を感じていたことと思うが、早期検挙によりその不安が解消された。引き続き検挙に努めていただきたい。」との意見があった。
- 3 委員から、「警察官が交通取締りの際、自転車で、違反車両を追跡することがあると思うが、その際スピードが出ていて、危ないと感じることがある。」との意見があったため、「警察官は、違反を現認した際は、取締りを行うため、自転車で違反車両を追跡する必要があるが、違反車両を追跡する際は、周囲の安全に配慮し、無理な追跡を行わないように指導している。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第2回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年09月27日 午後02時20分～午後04時00分

開催場所 荒川警察署 講堂

出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について、各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

安全教室等について、「大人向けだけではなく、子供に対しても体験等を含めた指導をしてはどうか。」との意見要望を受け、子供に対する各種教育活動として、交通安全、被害・非行防止、防災それぞれの取組状況について回答をした。

[業務報告]

交通事故、指定重点犯罪及び自転車盗の発生状況について報告した。

[諮問]

交通対策について

[答申]

交通違反等を警察官が看過してしまうと街の人達はその行為が容認されているものと認識してしまうので、軽微な違反やマナー違反等の行為こそ看過することなく、その都度適切な指導警告を行うように指示を徹底していただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「子供のヘルメット着用率が低いように感じる。」との意見があり、「交通安全教室等を通じて、子供とその保護者、教職員に対して、ヘルメットの着用を呼び掛けているところであるが、より浸透するように今後も活動を継続していきたい。」と回答した。
- 2 委員から、高齢者免許自主返納について「高齢者の中には、仕事で運転する必要があるなどの理由で、実際に免許を返納するのが難しい人もいるのではないか。」との意見があり、「制度に興味を持っている人は多く、リーフレット等を使用して説明を実施している。今後も、様々な機会を捉えて手続き等の説明を行い、自主返納を促していきたい。」と回答した。
- 3 委員から「自転車専用レーンは、駐車車両対策が必要ではないか。」との意見があり、「自転車専用レーンの設置以来、設置場所におけるマイク広報や取締りを重点的に実施しており、設置直後より駐車車両は減少している。」と回答した。
- 4 委員から「傘差し運転等の交通違反を見かけた場合は毅然とした態度で注意するように指示を徹底してほしい。」との意見があり、「傘差し運転を見つけた場合は、まずその場で注意をするように、また、警告カードの作成や、警告に従わない場合等の悪質な場合には交通切符による取締りも実施するように指示を徹底していきたい。」と回答した。
- 5 委員から「自転車の二人乗りが最近減ったように感じる。外国人の二人乗りも散見されたが、最近は見かけない。何か対策をしているのか。」との質問があり、「二人乗りは見ついたらその場ですぐにやめさせるように指示を徹底している。また、管内には日本語学校が多くあるため、当署の署員が日本語学校に赴き交通ルールを含む各種法令等について指導を行っているので、その効果が現れたのではないか。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第1回 荒川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年06月23日 午後02時30分～午後04時00分

開催場所 荒川警察署4階 講堂  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、警備課長の出席について、各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 「暴力団の活動実態等について教えていただきたい。」旨の要望意見を受け、暴力団の情勢及び検挙状況、今後の取組について回答をした。
- 2 「防犯カメラを設置した場合の効果を教えてほしい。」旨の要望意見を受け、一般カメラと街頭防犯カメラについて説明した後、防犯カメラ画像を活用した検挙事例及び当署における防犯カメラの設置促進に向けた取組について回答をした。

[業務報告]

今年の交通事故、指定重点犯罪及び自転車盗の発生状況について報告した。

[諮問]

災害時における管内実態と警察活動について

[答申]

子供達は、各種イベント等を通じて防犯や災害に関する指導や教育を受けているが、あまり危機感を持っていない。工夫を凝らして子供達に指導していただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「防犯カメラを設置することで検挙率が上がっているのであれば、町会等で周知して設置を促していきたい。」との意見があり、「防犯カメラの設置場所等指導している。実際に防犯カメラを活用して検挙にも至っている事案もある。設置等の際には相談していただきたい。」と回答した。
- 2 委員から「自転車運転マナー、各種犯罪防止、被害防止、地震での対処法等、大人向けだけではなく、子供に対しても体験等含めて臨場感、緊迫感を感じさせるやり方で指導してはどうか。」との意見があり、「各年齢層に合わせて、交通部門ではスクエアドストレイト、薬物や犯罪防止等には薬物乱用防止教室や各種防犯キャンペーン、震災対策では避難訓練等、各種対策を実施している。」「今後、危険ドラッグ、詐欺等も関連付けて、工夫を凝らして各種キャンペーンや指導教育を実施していきたい。」と回答した。
- 3 委員から「自転車の被害が多いと聞くと、その犯人はどのような動機で盗むのか。」との質問があり、「自転車を盗んだ者の多くは足代わりで、一時的な者、長期的な者、借用のつもり等の者等がいる。盗んだ自転車は、犯罪の逃走手段として使用される場合もあり、自転車が盗まれやすい地域は規範意識が薄い地域であるとの印象を犯罪者に与えることも懸念されることから、今後、規範意識を高めて抑止活動に努めていきたい。」と回答した。
- 4 委員から「侵入盗の犯罪が多いが、手口はどのようなものが多いのか。」との質問があり、指定重点犯罪の認知数を確認するとともに「空き巣等が多く、被害場所は戸建てやマンション等様々である。施錠の徹底等防犯対策をお願いしている。」と回答した。
- 5 委員から「地震等が発生した際に車に乗っていた場合、どうしたらよいか。」との質問があり、「道路の左側に寄せる等してエンジンを切って止め、場合によっては動かすこともあるので鍵をつけたままにしておいていただきたい。」「警察官等の指示・誘導に従っていただきたい。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。